



先輩職員から版

其の八

千葉市
人事委員会
事務局 発行

■ 本日の先輩 ■

緑消防署予防課 消防士

河村 なるみ (カワムラ ナルミ)

採用年度：平成29年度 職種：消防士

現所属での勤務年数：

11か月 (R2.3現在)

過去の所属 (主な職務内容)：

中央消防署予防課

災害現場における消火活動や救急活動を実施。



消防士は、人の役に立てているということを実感することができる、とてもやりがいのある仕事です！

Q1. 千葉市職員を消防士として志望した理由、きっかけは何ですか？

幼少期からスポーツに励み活発だった私は、将来は体を動かしながら人の役に立てる仕事がしたいと考えていました。中学生の頃に命の尊さを知る機会があり、それをきっかけに人の命を助ける消防士という仕事に興味をもちました。

生まれ育った千葉県内でも政令指定都市である千葉市は災害出動件数も多く、経験を積むことができると考えました。

また、他市に比べて女性が多く勤務していて、24時間勤務の現場で活躍している女性もいることを知りました。女性専用施設や女性のライフステージに合わせた制度が充実していることにも魅力を感じ、千葉市消防局を志望しました。

Q2. 現在の部署について教えてください。

【業務内容】

事務所では主に職員の給与及び諸手当に関すること、物品や庁舎の管理に関することなどの事務処理を行っています。

出動指令がかかれば消防車や救急車などの緊急車両に乗り込み現場に出動しています。消防署にいる間は、訓練や体力錬成をしたり、各係の事務仕事をこなしています。

【やりがい、難しさ】

救急現場などで市民の方に感謝された時に一番やりがいを感じます。今まで勉強してきたこと、訓練で身に付けてきたことが報われる瞬間です。「人を助けることができた」と直接感じる事ができるのが消防士としての魅力の1つだと思います。

難しさとしては、救急・消防隊員としての知識だけでなく、火災予防に関する法令など、覚えなければいけないことがたくさんあることが大変です。また、災害現場などで、人々の命を助けることができるという反面、力を尽くしても助けることができなかった場面に遭遇することもあります。

やりがいのある仕事ですが、悲しい現実を受け止めなければいけない場面もあるということを実感しておかなければなりません。

【雰囲気】

人間関係が良く、風通しの良い職場です。職場内のコミュニケーションが活発で、冗談を言って笑わせてくれたり、分からないことは親身になって教えてくれたり、話を聞いてくださる先輩方が多いので、毎日楽しく仕事ができます。

Q3. 入庁前のイメージと比較して、実際に職員として働いてみた感想を教えてください。

消防士は、常に体力勝負！というイメージでした・・・。

実際は、現場活動や防火防災指導など必要な知識が多く、体力だけでなく勉強も大事だということを知りました。

～ 1日の流れ ～

8:30 勤務交代→勤務開始、車両点検
9:30 ミーティング
10:00 訓練・管内調査・立入検査
・学校や事業所へ訓練指導等
(昼食を挟む)
17:15 夕食
18:00 車両点検・無線定時試験
18:30 事務整理・個人訓練
20:00 交代で仮眠

7:00 朝食
8:00 車両手入・車両点検
8:30 勤務交代→勤務終了

基本的に1日(24時間)勤務後・非番(1日)、休日(1日)のサイクルとなります。

常に出勤指令の準備！



Q4. 千葉市を受験する際の対策や、役に立ったことなどを教えてください。

大学で開講していた講座に参加したり、書店で自分に合ったテキストを買って勉強をしていました。また、消防士の採用試験には体力試験もあるので、ランニングや腕立て伏せ、腹筋などのトレーニングもしていました。

Q5. 後輩たちにアドバイスやエールをお願いします。

消防士の仕事の基本は、「災害から人々の生活と安全を守ること」です。仕事内容は、消火・救助・救急・火災予防・火災原因調査など多岐にわたります。初めは分からないことばかりですが、消防士として採用されたら、まずは消防学校で半年間、消防士としての基礎を学ぶことができます。その後も、配属された部署で、先輩・上司が親身になって教えてくれます。ぜひ一緒に、災害から千葉市を守りましょう！